

## 花き商 造園部会主催 フルハーネス講習会を開催しました。

花き商組合 造園部会の主催でフルハーネス講習会を1月27日、2月3日、2月10日の計3回広島市中央卸売市場大会議室における学科及び管理棟前の歩道橋を利用して実技の講習会を開催いたしました。

講師にはグリーンサービス作業安全講習会の胡田脩氏をお招きし4時間半の講習で延べ70名弱の組合員さんはじめ作業従事者の方が受講されました。



### 2022年 2月～3月 切花産地情報

情報提供：株式会社 花満 営業部

#### 輸入 南米産(コロンビア・エクアドル)

南米産はアメリカ経由が多く、コロナの影響を顕著に受けている様子で、エアー便のキャンセル状態が続いている為、ヒベリカムやアジサイ等は、安定した入荷が見込めない状況です。

#### 輸入 台湾産

オンシジューム・アンスリウムは、2月下旬頃から、エアー便と船便を利用して程度、安定した出荷を予測しています。トルコキキョウは、2月中旬頃からの入荷を予定しています。

#### 輸入 タイ産

デンファレ類は2月下旬までタイ国内での需要がある為、入荷は少ないと予測している。取引のある各商社との産地情報を共有して集荷努力をしていきます。

#### 大菊

九州、沖縄県産が中心 2月は、例年単価安が続いている事、燃料費高騰での影響とコロナ渦での不安もあり、生産量減や他農産物への転作がみられる。3月の需要期も同様で生産量は減少傾向にある。沖縄県では大菊から小菊への転作がみられる。

中国産に関しては、注文扱いを中心に商社が対応している為、競り委託出荷は少ないと予測している。受注を受けて、必要な数量だけを輸入している。

#### 小菊

2月の沖縄県産の生育状況は順調で作付面積は、例年よりやや少な目で計画されている。3月は全国の生産量の大半を沖縄県産が占めているが、生育状況は順調で秀品率が高いと予測している。色バランスも良く昨年並み若しくは微増での入荷を見込んでいる。彼岸需要期のピークは11日(金)～16日(水)を予測している。

#### スプレー菊 国産

九州産、沖永良部、沖縄県産が中心で3月需要期に向けて生育状況は順調。2月中旬以降の天候、気温次第では前進開花傾向になると予測している。今のところ2月下旬から徐々に生産量が増えて、3月10日頃を出荷ピークになるように生産管理をしている。九州産は燃料費高騰の影響を受けて2月の生産量は減少している。多種品種を集荷努力していく。

#### 総合展示見本市の中止

令和4年の広島県花き商業協同組合主催春の総合展示見本市は、新型コロナウイルス感染拡大によるまん延防止等重点措置の適用を受けて中止することとなりました。代替措置として**2月24日(木)から3月7日(月)まで**購買部においてお買い得なセールを企画しております。ぜひ、この機会に購買部でのお買い物をお楽しみください。

#### 枝物 花桃

廿日市 名越農園は2月上旬から例年並みの入荷を予定している。他、県内生産者は燃料費高騰で減少傾向にある。香川県産(さきがけ)は例年並みの入荷を予定している。

#### 桜

山形県産の啓翁桜は3月下旬までの入荷を予定している。今年は豪雪の影響を受けて、収穫量が減少している。燃料費高騰と遠方地からの輸送費高騰により、相場展開次第で入荷状況は変わります。広島県内産の啓翁桜や本桜は、コロナ渦での行事ごと中止の影響を受けて、また燃料費高騰での生産負担から入荷は少なめになると予測しています。

#### オリエンタルユリ

高知県・九州産が中心 1月・2月は例年相場が低い為、加温期の生産は燃料費高騰と資材費高騰により、温度管理で2月中旬までは入荷が少く品薄感を予測している。2月下旬以降は徐々に増えてくると予測している。カサブランカは球根育成国での球根生育不良により、日本への供給不足により、生産量は非常に少ない。白系のオリエンタルユリ集荷に注力する。

#### スイートピー

岡山県・九州産・広島県産が中心 生産者の減少が続いている。天候次第で、生育が左右されやすく3日以上曇天や雨天が続くと、その数日後には落葉し影響が出る。また3月に入り、3日以上15℃以上の気温が続くと、長い丈の物が(2L)生育しなくなり、L・M率が高くなる。染の需要が多く、品種数は増えているがロットの多い品種は減っていくと予測している。2月全般・3月上旬の天候と気温次第というのが現状。

#### バラ・SPバラ

コロナ渦での蔓延防止等の影響を受けて、1月、2月の婚礼需要、宴会等の装飾需要は軒並み減少が続いている。需要が少ない事で、燃料費や資材、生産時の肥料費も高騰が続いている。低温期の温度を調整して、生育を遅らせている状況で、出荷量は減少している。15年前まで20数名いた県内の生産者も現在は7名にまで減っている。需要期を販賣するために他県からの集荷に努力している。輸入は4月の上旬には国内への入荷がなくなる見込みで、注文対応が中心になり、委託販売分は少ないと予測している。

## 洋ラン類

国内生産の苗供給は、ほとんどが台湾とタイからの供給で、現地の労働者不足と賃金高騰や、運送費と生産資材高騰によるコスト高が、国内生産を圧迫している。苗生産の生育期間が長い事から、品目転換が多く見られ、今後、生産が増える様子が見えないのが現状で、定期予約注文等の決定価格を産地側が希望しており、競り委託販売への品薄感は常時予測される、需要期への早めの注文をお勧めします。

## 観葉植物

コロナ禍での観葉植物の需要が急激に伸びており、産地在庫が限りなく少ない状況になっている。原木から新規に生育し製品になるまでに、おおよそ半年間かかるが、製品になるまでの仕上がり途中に各市場が注文で抑えているのが現状です。産地に足を運べない状況の中で、集荷努力し商品確保に努力したい。

## 苗物

### (ペチュニア・バーベナ・マリーゴールド・パンジー・野菜苗 他)

県内産は3月に入ってからの本格的な出荷になると予測しているが、冬低温期の燃料費高騰や資材費高騰による生産者減で生産量も減少傾向にある。島根県産の苗物生産者も3名となり生産減少は避けられない状況で、野菜苗の生産者は紫陽花の生産に切り替わっている為、島根県以外での集荷先手配に注力している。花苗物は、兵庫県や鳥取県、岡山県からの集荷努力を行います。

## サイネリア

需要期以外の競り委託販売分の単価安と生産コスト高により、全般に生産量は減少傾向です。2月下旬から3月中旬頃までの入荷が中心になりますが、品薄感が予測されます。商品確保に努めますが、早め(3月中旬需要期物は、2月中旬)に注文をお願い致します。

## リーガスペゴニア

3月の卒業式需要での取り扱いが増えている近年ですが、燃料費高騰により、3寸4寸の価格の低い商品生産は、ほとんどが生産を中止しており、商品確保は非常に厳しい状況になっています。5寸6寸物は多少の入荷は有りますが、メインは母の日用に生産されています。注文対応での集荷、入荷が中心になると予測しています。

## 紫陽花

2月下旬から、愛知県産の5寸を中心に出荷が始まります。3月上旬からは九州方面からの出荷が始まる予定です。今のところ順調な生育状況です。需要傾向から玉アジサイ系の生産が増えています、青系とピンク系の色割合は半々位の作付けがされています。品種により、価格が異なりますので、人気の品種は早めの注文をして頂ければと思います。

## ミニバラ

生産量は年々減少しています。競り委託出荷が減り注文品の対応がほとんどになっている。3月上旬から愛知県産を中心に3.5寸～4寸の出荷が見込まれますが、燃料費、資材費の高騰により、昨年よりも注文単価は上がる予測をしています。

2022年2月よりWeb上場 商談時間を午後1時～午後4時の時間帯に変更しています。

上場率の向上と、少しでも多くの品目品種をご案内できるように努力して参りますので、皆様のご利用をお待ちしております。未加入の皆様へ、この機会に是非、弊社Net販売システムへのご加入をお勧め致しますので、ご検討宜しくお願い致します。

2022・2月3月 産地品目情報

(株)花満 営業部 副本部長 井上 博英

## 青年会通信

### 青年会 活動報告

2022年2月8日に開催を予定しておりましたフローリスト講習会は新型コロナウィルス感染まん延防止等重点措置が適用され、石川県金沢市から小西拓先生をお招きすることが出来なくなり、残念ながら中止とさせていただきました。

フラワーアレンジ、ブーケ、リースなど新たな商品開発に役立つ研修を引き続き計画したいと思っております。



## 青年会員募集中！

花き業界の次世代を担う若者を募集しています。  
40歳までの生花・造園・園芸各事業所の経営者、従業員の方対象です。

勉強会や研修旅行など、いろいろな行事を予定しております。  
楽しみながら業界を発展させていきましょう！

詳しくは組合事務所まで。



## 事務局より

### ① 新規組合員募集

お知り合いの加入希望者の紹介をお願いいたします!! 詳しくは事務局まで

② 異動・変更が発生しました際は、事務局へ連絡をお願いいたします。代表者・住所・電話・FAX・組合費引落し口座 等